

# 健全化判断比率審査意見書

## 第1 審査の種類

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項に基づく審査

## 第2 審査の対象

令和元年度決算等に基づき令和2年度に算定した実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率（以下「健全化判断比率」という。）並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類

## 第3 審査の期間

令和2年7月16日から同年8月6日まで

## 第4 審査の実施内容等

審査に当たっては、水戸市監査基準（令和2年水戸市監査委員告示第1号）にのっとり、審査に付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が法令に適合し、かつ正確であるかについて関係書類との照合及び計数の確認を行うとともに、7月27日には、監査委員室において関係職員から説明を聴取し、審査を実施した。

## 第5 審査の結果

審査に付された下記の健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されていることを認めた。

## 第6 意見

健全化判断比率は、いずれも早期健全化基準を下回っているが、実質公債費比率は、前年度の9.3%と比較して0.2ポイント、将来負担比率は、前年度の121.1%と比較して11.3ポイント、それぞれ上昇している。今後とも、4大プロジェクトの進捗に伴う公債費や市債残高の増加による各比率の推移に留意しながら、引き続き、国の交付金事業の活用や地方交付税が措置される市債の発行などによる財源の確保に努め、公債費負担の軽減及び市債残高の抑制に取り組まれない。

記

（単位 %）

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— (11.25)	— (16.25)	9.5 (25.0)	132.4 (350.0)

備考1 「—」は、該当数値がないことを示す。

2 早期健全化基準の数値を括弧内に記載した。